



**理念** 患者さま一人ひとりを大切にする医療を目指します。



## めざすべき「未来の姿」を描く

院長 重田 みどり

今年も輝かしい新入職員を迎え、病院内が活気に満ちています。当院は妊娠・出産・子育て支援の充実に努めていますが、わが国では8年連続で出生数が減少し、少子高齢化の先には生産年齢人口（15歳～64歳）が急減する人口減少時代の到来が予測されています。

人口減少時代では、病気の予防や治療の進歩で入院が必要な患者数も減り、医療の技術革新により入院期間もさらに短くなることでしょう。同時に人口減により医療現場で働き手が不足し、働き方改革で労働時間も短縮されますので、仕事の効率化が求められます。しかし、医療と

いう仕事の性格上、効率化が難しい面もあります。したがって、地域全体として医療機関が再編統合も視野に入れ、役割分担と連携を強化しようというのが地域医療構想です。病院は高度急性期病院と地域包括ケアシステム（住まいを中心に医療、介護等を切れ目なく提供する体制）を支える病院に分かれます。

当院は地域包括ケアシステムを支える病院として、高齢者も障害のある方も住み慣れた街で幸せに暮らすことをめざすために医療・福祉面の役割を担っています。入院ベッドを効率よく使えるように、2年前から準備をしてきた病棟再編を4月から開始しました。これまで以上に急性期病棟は急性期らしく、回復期病棟である地域包括ケア病棟は、在宅や介護施設への復帰のための支援を充実させました。また、入院・転棟を調整するベッドコントロール師長と、入院前から患者さんの情報を把握し多職種で連携して支援するための入院支援室を設けました。

地域の医療を守り、めざすべき「未来の姿」を、住民の皆様、行政、地域で医療・福祉・介護に尽力されている方々とともに思い描き、そこから当院が「いま何をなすべきか」を常に考えていきたいと思っております。今後ともご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## Index

能登半島地震医療班派遣報告……………	2・3
新任のご挨拶・医師のご紹介……………	4
成人食物アレルギーセンターのご紹介……………	5
ロビーコンサート……………	5
薬剤部だより……………	6
地域医療連携室から……………	7



# 能登半島地震 医療班派遣報告

臨床研究部長 三方 崇嗣

2024/1/21(日)～1/25(木)能登半島地震への対応として、輪島市へ医師1名・看護師2名・事務職員1名の医療チームで向かいました。(写真1)

1/21は金沢まで大凡530kmを高速道路を使って約7時間で到着しました。翌日以降のレクチャーをうけ、必要なアプリなどを登録。



写真1

1/22金沢から対策本部のある輪島市役所に向かいますが、わずか50kmの行程を約5時間必要としました。写真2・3にあるように高速も含めて至る所の道路がダメージを受けていること、電気も復旧していないため信号も機能していないことが原因です。

全国から警察も集合して、交差点での交通整理など行っていました。



写真2

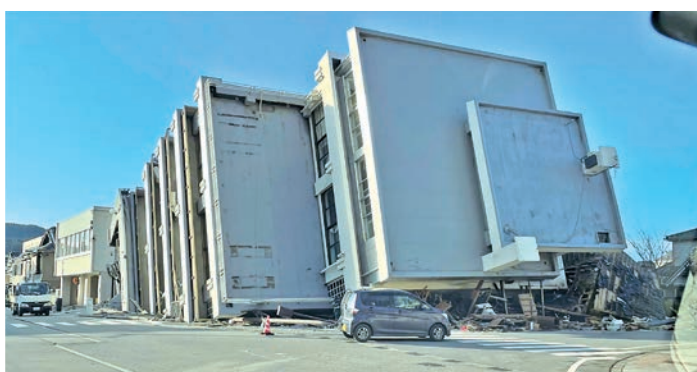


写真3

市役所の本部では自衛隊、全国のDMAT、DPAT（精神科を担当）、日赤の医療チームとNHO医療チームが参加していました。(写真4) NHOは当院を含めて6チームが参加し、日赤と一緒に避難所の住民の健康状態のスクリーニングとインフラの評価を担当することになっていました。

3日間で12カ所の避難所を回り、健康状態の確認と診察や治療が必要な方はそれを行い、また、水や食料の状況、トイレの状況、covid等が出たときに隔離が可能かなどの環境調査も行いました。避難所の規模は様々で、数十人規模の小学校や公民館もあれば、数名程度のプレハブやビニールハウスに10人程度避難しているところもありました。(写真5)



写真4



写真5

いずれの避難所の方も頑張っておられ、こちらが勇気づけられることも多々ありました。しかしインフルエンザやcovid19, 胃腸炎が出た場合は隔離が難しく、避難所内でクラスターを起こすことが殆どでした。

避難所は正規の建物でないため住所として登録されていないことも多く、地図アプリなどで情報を共有しても中々搜索に時間がかかります。

その過程で新たな避難所を発見したり、避難所に移動不可能な高齢者の居る個人宅を発見し、社会福祉担当への調整依頼も行うという経験もしました。我々のグループの看護師のコミュニケーション能力が高いため、比較的スムーズに情報を収集できました。最終日には炊き出しボランティアから避難所にも病院にも行けず家に居る病人が増えている情報を聞き出し、本部に調整を依頼したりもしました。

そこを見込まれたのか今回の派遣業務の中で最も困難なミッションが割り当てられました。1/10に報告に上がった以降消息の分からない避難所が現存しているか無くなっているか確認してほしいというものです。

瓦礫の多い中、10軒以上訪ね歩いて周辺住民に聞き込み、そもそも避難所としては存在して無かったこと、1/17日頃避難指示がでてそれに従い住民は他地域に避難していることを確認しました。(写真6)

滞在中は宿泊した市民病院ですら上下水道が止まっており、仮設トイレと寝袋、緊急食という避難所の方と同様の体験をし、水がふんだんに使えることの有り難さを実感しました。

今回の派遣を通じて千葉近郊で地震が起きた際には、房総半島の陸路が遮断された場合の移動方法を考えておく必要性、水道/電気などのインフラ整備の重要性を痛感しました。

当院だけで解決出来ることではないですが、避難対策会議などを通じて行政の方との共通認識に持って行ければ良いと思っています。



写真6

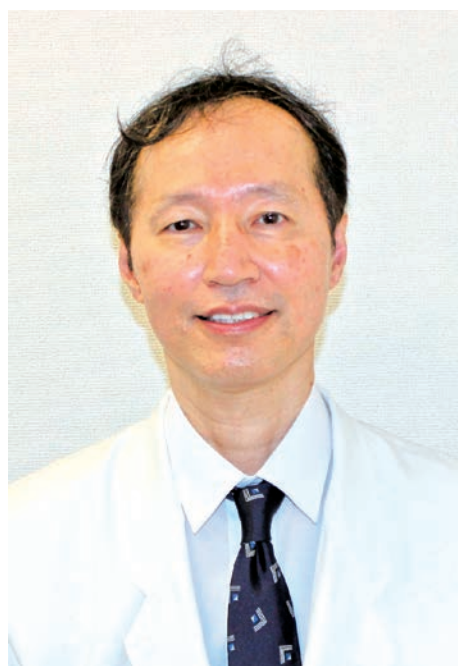
## 新任のご挨拶

副院長 鬼頭 浩之

2024年4月1日付で国立病院機構下志津病院副院長を拝命いたしました鬼頭です。国立病院機構千葉医療センターより異動して参りました。私は大学を卒業後、心臓外科医として千葉県内の病院で勤務してきました。前任地では臨床を行う一方、初期臨床研修医や専攻医の教育にも携わり、下志津病院には小児科やリウマチ科の研修をお願いして参りました。その下志津病院に異動することになり縁を感じますとともに、副院長として引き受ける重責に、身の引き締まる思いであります。

当院は、地域一般医療と小児科やリウマチ科などの専門医療、障害者医療という3つの医療を行っています。この3つの使命をバランスよく果たすことを目指し、この4月に病棟再編を行い新しい一歩を踏み出しました。地域一般医療では、かかりつけ医の先生方のみならず、近隣の急性期病院・介護老人施設・在宅診療所との連携をさらに深め、当院ならではの地域貢献をしていきたいと考えております。

地域で頼られる病院を目指して参りますので、近隣のクリニックの先生方、ならびに住民の方々には、今後とも引き続き温かいご支援をお願い申し上げます。



## 医師のご紹介

神経内科 角谷 真人

令和5年10月より神経内科で勤務しております。防衛医大を卒業してから、陸上自衛隊医官として、所沢、朝霞、習志野、練馬、市ヶ谷、三宿等で勤務しておりましたが、令和5年9月末に退職して下志津病院に入職いたしました。自衛隊では神経内科診療以外にも隊員の健康管理や災害派遣、行政的な仕事など色々な業務を経験しました。大学院では筋炎や免疫性ニューロパチーなど自己抗体の関与する免疫性神経疾患の研究をしておりました。現在は主に筋ジス病棟の入院患者さんの診療を担当しておりますが、これまでの経験を活かして地域医療にも貢献できればと思います。どうぞよろしくお願い致します。



# 成人食物アレルギーセンターのご紹介

佐藤 一樹

近年、食物アレルギー患者は増加傾向にあり、成人の食物アレルギー患者も増えてきました。しかし、食物アレルギーの専門家はほとんどが小児科医であり、成人の食物アレルギーに関わる医療機関や専門家の不足が課題となっています。

当院では、この課題に対応するため、小児科医師が水曜日の午後に小児科外来ブースで成人食物アレルギー外来を行っています。成人食物アレルギーでは、アナフィラキシーショックを起こす割合が小児と比較しても非常に高く、一方で原因食物の特定や他の疾患との鑑別診断が容易ではないため、患者自身が不安からつぎつぎと不必要な除去食を行ってしまうといった問題もみられます。

かかりつけの成人食物アレルギー患者には、アナフィラキシーを疑う場合には、最寄りの救急医療機関への受診を推奨しています。今後、患者からの問い合わせなど発生すると思われませんが、食物アレルギーに関する適切な診断と治療を提供し、患者の安心・安全な生活を支援するために、引き続きご協力をお願いします。



療育指導室 保育士 高田 絵里  
保育士 友部 咲良

1月31日、第186回ロビーコンサートを開催しました。

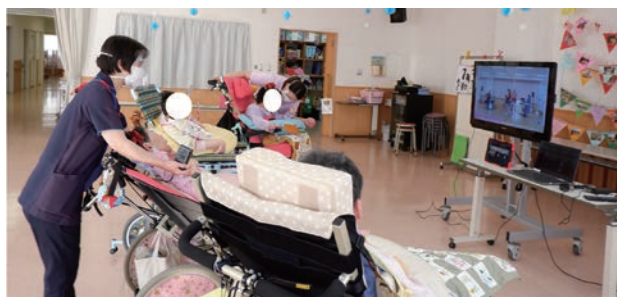
今回は、「パーカス石井バンドwith石井喜子」さんが船橋から来てくださいました。メンバーは医療・福祉の関係者で20年前より病院や介護施設に生の音楽を届けていらっしゃる皆さんです。

今回は、筋ジストロフィー病棟の患者さんが会場で生演奏を体感し、他の病棟の皆さんには、リモートでの演奏をお届けしていただきました。「A列車でいこう」「昴」「また逢う日まで」など、ジャズバンドのアクティブでパワフル!!な音楽に、みんな心から楽しむことができました。

職員も一緒に歌ったり、奏でたりと、音楽を体いっぱい楽しむことができました。

まだまだ、院内では感染症対策の為、活動制限をせざるを得ない状況ですが、このような素敵な時間を共に楽しめたこと、とても嬉しく思います。

今回の開催にあたり、ご協力いただきましたパーカス石井バンドwith石井喜子様、関係者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



# これで安心 便利なお薬手帳を活用しよう!



○薬剤部

突然ですが

自分のお薬のことは言えますか?



- ・お薬の名前(成分)
- ・お薬の量(いつ?何錠ずつ?)
- ・どんな病気のために(効果)

なんの薬を飲んでいたら。白くて小さい丸いのと、赤いのと、えーと、わからないわ…



お薬手帳に全て書いてあります!



## お薬手帳とは?

- 自分が飲んでいるお薬の名前・飲み方・日数など、あなたとお薬のことに関係することを記録できる手帳です。
- 副作用の経験やアレルギーの有無、現在も治療中や、過去にかかった病気などについても記入できます。

## お薬手帳をもつメリット

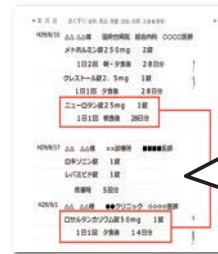
- ・薬の飲み合わせや重複をチェックし、副作用のリスクを減らします。
- ・副作用歴、アレルギー、既往歴(過去にかかった病気)などの情報を伝えることができます。
- ・災害時にお薬手帳を持っていることで、速やかに、持病の薬をもらうことが出来ます。

### 飲み合わせ



A病院とB歯科医院とC診療所は自施設以外から処方されているお薬の内容を知りません。そのため、同じような薬が重複してしまったり、逆に効果を打ち消し合ってしまった可能性があります。

### 重複



それぞれの病院から、薬名前は違うけれど、同じ薬が出ている! 両方飲んでしまうと、**血圧が下り過ぎる可能性!**

## もしも災害が起きたら

- ・持病の薬がなくなってしまった
- ・かかりつけの病院、薬局が閉まっていて利用できない



お薬手帳があれば、どのような 病気で、普段どのような薬を飲んでいるか把握することができるので、災害時にはとても役に立ちます!

## お薬手帳に関するお願い

- 名前だけでなく、アレルギー・副作用歴や既往歴(今までかかった病気)も書いておきましょう。
- お薬手帳は、病院に行くときだけでなく、外出や旅行先には携帯するようにしましょう。
- お薬手帳は、病院や薬局ごとに作らずに必ず1冊にまとめましょう。
- もし、分けている方は、かかりつけの薬局で1冊にまとめてもらってください。



お薬手帳は自分の身を守る大事な手帳です



## 地域医療連携室から (クリニックご紹介)

### 和泉内科医院

素敵なお花がたくさん咲いていました♪

1997年4月15日開院以来、職員にも恵まれ貴院を始め近隣の諸先生方、病院、施設に大変お世話になり今日に至っております。

今後も今迄通り良質で全人的な医療の提供を心がけ、またどんな些細な事でも気軽に相談にお越し頂ける場所である事で地域医療に貢献できましたらと願って診療を行って参ります。

どうぞご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げます。

院長 和泉佳子



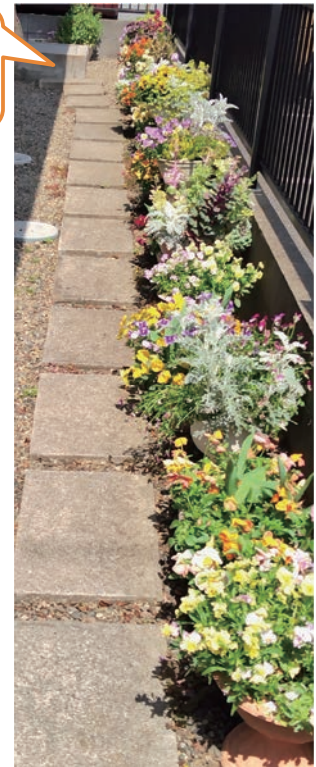
住所：四街道市和良比 181-33

電話：043-432-8187

\* 四街道駅南口徒歩5分

時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
5:30～12:00	●	●	●	-	●	●	-	-
14:00～17:00	●	●	-	-	●	-	-	-

5:30～12:00、14:00～17:00  
水・土曜はAMのみ臨時休診あり



## 下志津病院 レスパイト入院のご案内

レスパイトとは、「休息」や「小休止」などの意味を持つ言葉です。当院の地域包括ケア病棟では、様々な事情で一時的に在宅介護が難しくなった患者さまに短期間ご入院していただき、患者さま・ご家族共に在宅生活が継続できるよう支援を行っています。医療的ケアがあって介護保険施設利用が難しい方など、お気軽にご相談ください。

### 【レスパイト入院の流れ】

入院希望のご相談 (043-422-2511 に電話し、レスパイト入院希望の旨をお伝えください。地域医療連携室が対応致します)



必要書類をご準備いただき (診療情報提供書や看護サマリなど)、お受入れについて検討致します。



お受入れ可能となった場合は、具体的な日程や費用、持ち物などについて打ち合わせていきます。



レスパイト入院

\* 重症心身障害児者の短期入所については、療育指導室が担当しております。

受付時間  
8:30～11:00

# 外来診療担当表

独立行政法人 国立病院機構 下志津病院  
令和6年4月1日～

区分	月	火	水	木	金
内科 一般内科(月～木) リウマチ科(毎日) 消化器内科(月・水) ○一般内科 初診担当 ●リウマチ科 初診担当	●杉本(初診) 古川 ○富澤(初診) 宮林	杉山 篠崎 ●○古川(初診) 末石 横山(AM)	古川 富澤 ●○黒田(初診) 眞山	杉山 杉本 ○杉浦(初診) 黒田 乗本(PM)	●杉山(初診) 杉本 ●○岩柳(初診) 西村
アレルギー科(成人)(喘息)					岩本(AM)
呼吸器科			佐野 (第1・3・5 13:00～15:00)		
睡眠時無呼吸外来※			梅岡(PM) (第2・4のみ)		
禁煙外来※			鈴木(修) (15:00～16:00)		
脳神経外科	丹野	石毛/丹野	深谷	丹野	深谷
神経内科		本吉/三方	本吉	田中	本吉/三方
小児神経科※	大村		石原	大村	
小児科 一般小児科(毎日) 喘息・アレルギー (毎日・予約制)※ 代謝(水のみ) 腎臓(水(PM)・木・金) 血管腫(火・予約制)※ ◎神経(水・木・金)※ 肥満(毎日・予約制)※ 成人食物アレルギー (木(PM))	一般 喘息・アレルギー(予約のみ) 佐藤(一) 甲斐 中村(健) 鈴木(修)(AM) 交代制(女子医大) 鈴木(純)(PM)	一般 喘息・アレルギー・血管腫 (予約のみ) 山本(第1・3のみ) 山出 仲村 佐藤(一) 重田 鈴木(由)(PM)	一般 喘息・アレルギー(予約のみ) 代謝・神経・腎臓(PM) 鈴木(由) ◎吉富(神経) 鈴木(修) 松村(PM)	一般 喘息・アレルギー(予約のみ) 腎臓・神経 ◎砂川(神経) 渡邊 中村(文) 佐藤(一) 山出 交代制(女子医大) 金野(内分泌)(PM) (第3のみ)	一般 喘息・アレルギー(予約のみ) 腎臓・神経 ◎関谷(神経) ◎石原(神経) 鈴木(修) 須藤 天野(PM)
小児内分泌(予約制)				交代制(千葉大) (第3のみ 13:00～16:00)	
外科	白井		白井	長谷川(予約制)	白井
整形外科	鈴木(宗) 玉井 鈴木(徳)(PM)	玉井 江口(PM, 第3・5のみ) 交代制(千葉大)		鈴木(宗) 玉井	鈴木(宗) 交代制(千葉大)
リハビリテーション科	三方(指定する日)				

以下の診療をご希望の方は地域医療連携室へお問い合わせ下さい。(完全予約制 TEL 043-422-3025(直通))

- ※ 小児神経科の初診の方
- ※ 成人・小児科の食物アレルギー・気管支喘息・アトピー性皮膚炎・血管腫の初診の方
- ※ 小児科の低身長・甲状腺の病気・思春期早発症(早期に身体が成熟する病気)・糖尿病の初診の方
- ※ 小児科の肥満の初診の方
- ※ 睡眠時無呼吸外来、禁煙外来
- ※ 整形外科(水曜日は休診) 診察をご希望の方、これまで診察を受けていた方もすべて予約制となります。初めて受診される方は紹介状が必要になります。一度お電話にてお問い合わせください。
- ☆ 小児科 中村(文) 医師に外来受診希望の方は、電話でお問い合わせください。

# 検査担当医師表

区分	月	火	水	木	金
内視鏡 (予約制)	胃 大腸	長谷川	富澤	長谷川	篠崎
				長谷川・白井(芳)	長谷川・白井(芳)
超音波 (予約制)	腹部	富澤(AM)		篠崎(AM)	富澤(AM)
	関節	山形・乗本(PM)			山形(PM)
	心臓(成人)	堅田(AM)	筋ジストロフィー(第3・不定期)		
	心臓(小児)			濱田(PM)(第4のみ)	濱田(PM)(第2のみ)

四街道市 乳児健診 健診は第4木曜日14:00から行います。  
予防接種・乳児健診予約のお問い合わせは1番窓口と電話にて受付しています。(予約受付 平日13:00～16:00 043-422-3513(直通))

- ・ 精神科・皮膚科・歯科・眼科・耳鼻科は、主として入院患者を診察しています。



ホームページは  
こちらへ

第30号  
令和6年4月発行

発行責任者 重田みどり  
編集委員長 鬼頭 浩之